

県内企業景況調査結果

[2020年4～6月期実績、2020年7～9月期見通し]

沖縄振興開発金融公庫 調査部発表

— 県内景況は、一段と悪化している —

調査結果のポイント

1. 業況判断 D.I.

実績（4～6月期）：「悪化」超幅が大幅に拡大し、3期連続のマイナス

〔前期△34.3%ポイント（以下、単位省略）⇒当期△61.9〕

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響が全業種に及び調査開始以来過去最低見通し（7～9月期）：来期は「悪化」超幅がやや縮小となる見通し（来期△59.5）
- ・一部の業種で若干の改善は見られるものの、全産業で大幅なマイナスとなり、厳しい状況が続く見込み

2. 景況天気

実績：「☁️（曇り）」から調査開始以来初の「☔️（雨）」（前期△8.6⇒当期△37.8）

建設業で引き続き「☁️（薄曇り）」

卸売業で「☁️（薄曇り）」→「☔️（雨）」

製造業で「☁️（薄曇り）」→「☁️（曇り）」

小売業、運輸業、情報通信業、サービス業で「☁️（曇り）」→「☔️（雨）」

飲食店・宿泊業で引き続き「☔️（雨）」

見通し：引き続き「☔️（雨）」となる見通し（来期△36.5）

建設業で「☁️（薄曇り）」→「☁️（曇り）」

卸売業、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業、飲食店・宿泊業で引き続き「☔️（雨）」

製造業で引き続き「☁️（曇り）」

3. 売上 D.I.

実績：「減少」超幅が大幅に拡大（同△37.1⇒同△64.9）

見通し：「減少」超幅がやや縮小の見通し（同△62.5）

4. 採算水準 D.I.

実績：「黒字」超から「赤字」超へ転じる（同19.3⇒同△21.3）

見通し：「赤字」超幅が縮小の見通し（同△15.3）

5. 資金繰り D.I.

実績：「苦しい」超幅が大幅に拡大（同△8.1⇒同△27.3）

見通し：「苦しい」超幅がやや拡大の見通し（同△31.8）

沖縄振興開発金融公庫 調査部

[調査内容についてのお問い合わせ先]

調査部 金融経済調査課（担当：平良）

沖縄県那覇市おもろまち1-2-26

電話：098-941-1725 FAX：098-941-1920

I. 調査要領

1. 調査目的

本調査は、県内における企業の景況を把握し、企業経営のための情報を提供することを目的とする。

2. 調査対象

沖縄県内に本社のある法人企業のうち、原則として資本金1千万円以上かつ従業員数20名以上の企業を対象とする。

3. 調査対象企業数及び回答状況

業種	項目	調査対象企業数	回答数	回答率 (%)
		(A)	(B)	(B)/(A)×100
全産業		412	333	80.8
製造業		75	63	84.0
建設業		72	64	88.9
卸売業		51	38	74.5
小売業		56	40	71.4
運輸業		37	34	91.9
情報通信業		23	20	87.0
サービス業		54	47	87.0
飲食店・宿泊業		38	24	63.2

※全産業には電力・ガス、不動産業が含まれるため、各業種合計と全産業の値は一致しない。

4. 調査方法

対象企業に調査票を郵送し、自計記入を求める方法による。

5. 調査対象期間

当期 … 2020年4～6月期実績 来期 … 2020年7～9月期見通し

6. 調査実施期間

2020年5月下旬～2020年6月中旬

(発送：2020年5月27日、回収基準日：2020年6月10日)

7. 用語説明等

- (1) 本調査は、原則として前年同期との比較による調査であるが、採算水準、在庫水準、雇用判断については当該期に関する質問となっている。
- (2) D. I. (Diffusion Index) とは、質問に対しプラス、中立、マイナスの3つの選択肢を用意し、このうちプラスと答えた企業の割合から、マイナスと答えた企業の割合を差し引いたものである。
- (3) 景況天気については、売上、採算水準、資金繰りD. I. を平均し、その値を5段階に区分して判定している。

II. 調査結果

1. 業況判断

— 当期は「悪化」超幅が大幅に拡大し、3期連続のマイナスで
D. I. 値は調査開始以来最低、来期は「悪化」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2020年4～6月期実績]

自社の業況を総合的に判断する業況判断D. I. は、△61.9%ポイント(以下、単位省略)と「悪化」超幅が大幅に拡大し、3期連続のマイナスでD. I. 値は調査開始以来最低となった。

業種別にみると、製造業、建設業、卸売業、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業で「悪化」超幅が大幅に拡大、飲食店・宿泊業で「悪化」超幅がほぼ横這いとなった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の業況判断D. I. は△59.5と、「悪化」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「悪化」超幅が大幅に拡大、飲食店・宿泊業で「悪化」超幅がやや拡大となるものの、サービス業で「悪化」超幅が大幅に縮小、製造業、卸売業、運輸業で「悪化」超幅が縮小、小売業、情報通信業で「悪化」超幅が横這いの見通しとなっている。

図表1-1. 業況判断D.I.

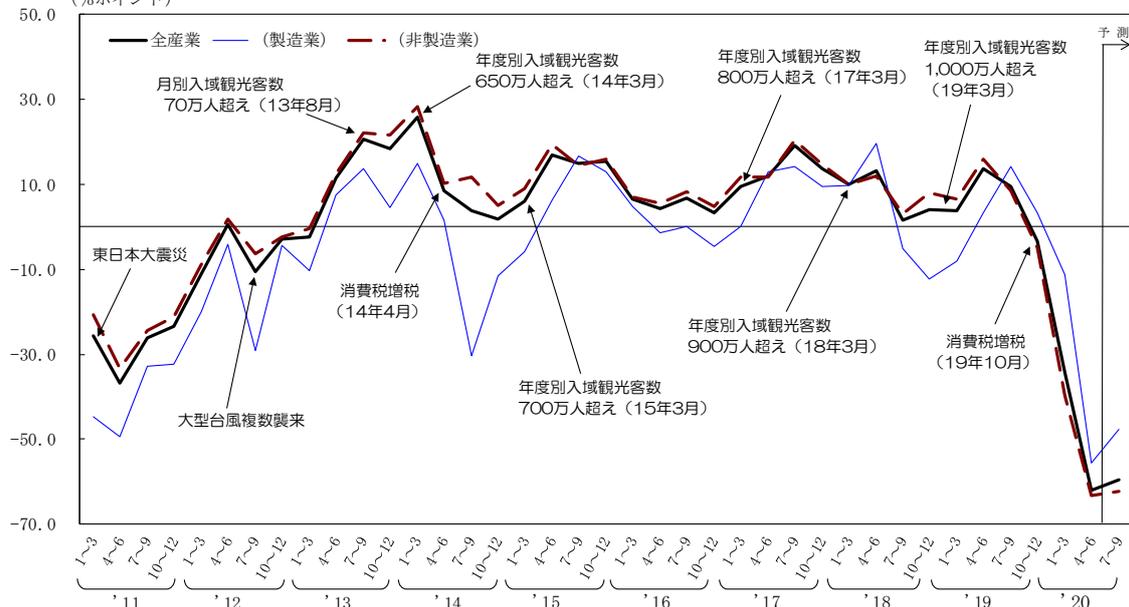
参考: 業況判断D. I. (前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期 実績	4～6月期 実績	7～9月期 実績	10～12月期 実績	1～3月期 前回実績	4～6月期 前回見通し	今回実績	7～9月期 今回見通し
全産業	D. I. (①-②)	3.7	13.6	9.6	△ 3.4	△ 34.3	(△38.0)	△ 61.9	△ 59.5
	① 好転(%)	24.7	27.6	26.5	20.0	12.1	(6.9)	5.7	4.5
	不変(%)	54.3	58.5	56.6	56.6	41.4	(48.3)	26.7	31.5
	② 悪化(%)	21.0	13.9	16.9	23.4	46.4	(44.9)	67.6	64.0
製造業		△ 8.2	3.3	14.3	3.3	△ 11.3	(△22.6)	△ 55.6	△ 47.6
建設業		9.4	12.9	1.6	3.2	△ 11.5	(△13.1)	△ 23.4	△ 34.4
卸売業		7.7	23.1	23.1	0.0	△ 23.7	(△42.1)	△ 68.4	△ 63.2
小売業		4.7	14.0	14.3	△ 4.9	△ 47.6	(△50.0)	△ 65.0	△ 65.0
運輸業		9.4	18.8	6.1	0.0	△ 66.7	(△53.3)	△ 85.3	△ 79.4
情報通信業		4.8	4.5	13.6	△ 9.1	△ 30.0	(△45.0)	△ 85.0	△ 85.0
サービス業		4.5	15.6	0.0	△ 18.6	△ 46.5	(△44.2)	△ 76.6	△ 63.8
飲食店・宿泊業		0.0	22.7	0.0	△ 22.7	△ 90.9	(△86.4)	△ 91.7	△ 95.8

図表1-2. 業況判断D. I. の推移

(%ポイント)



2. 景況天気

— 当期は調査開始以来初の「雨」、来期も「雨」の見通し —

(1) [2020年4~6月期実績]

当期の県内企業の動向を全産業ベースでみると、採算水準D. I. (19.3→△21.3)で「黒字」超から「赤字」超へ転じ、売上D. I. (△37.1→△64.9)で「減少」超幅が大幅に拡大、資金繰りD. I. (△8.1→△27.3)で「苦しい」超幅が大幅に拡大となったことから、景況天気(△8.6→△37.8)は調査開始以来初の「雨」となった。

業種別にみると、建設業で引き続き「薄曇り」となるものの、卸売業で「薄曇り」から「雨」、製造業で「薄曇り」から「曇り」、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業で「曇り」から「雨」、飲食店・宿泊業で引き続き「雨」となった。

(2) [2020年7~9月期見通し]

来期の見通しは、採算水準D. I. (△15.3)で「赤字」超幅が縮小、売上D. I. (△62.5)で「減少」超幅がやや縮小となるものの、資金繰りD. I. (△31.8)で「苦しい」超幅がやや拡大となることから、景況天気(△36.5)は引き続き「雨」の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「薄曇り」から「曇り」となるものの、卸売業、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業、飲食店・宿泊業で引き続き「雨」、製造業で引き続き「曇り」の見通しとなっている。

図表2-1. 景況天気図

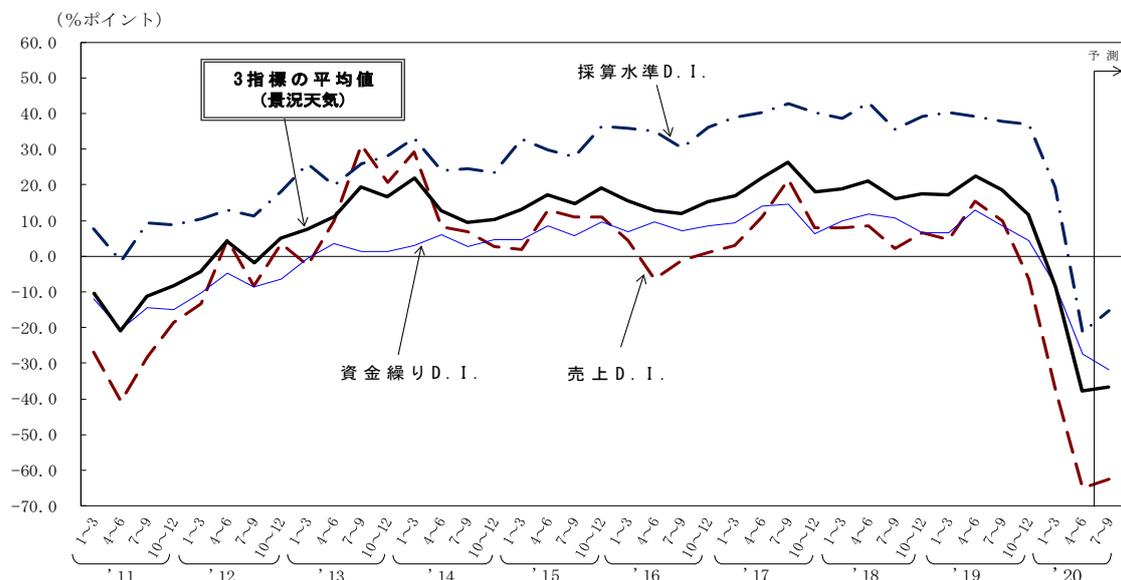
参考: 景況天気(売上、採算水準、資金繰りD. I.の平均値)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業		☀️ 17.2	☀️ 22.5	☀️ 18.7	☀️ 11.6	☁️ △8.6	☁️ (△14.4)	☔️ △37.8	☔️ △36.5
製造業		☁️ 4.9	☀️ 15.8	☀️ 21.2	☀️ 18.9	☁️ 7.0	☁️ (△4.8)	☁️ △27.5	☁️ △23.8
建設業		☀️ 19.8	☀️ 18.8	☁️ 7.4	☁️ 5.3	☁️ 7.7	☁️ (3.3)	☁️ △3.6	☁️ △9.9
卸売業		☀️ 25.6	☀️ 30.8	☀️ 35.9	☀️ 13.5	☁️ 7.0	☁️ (△9.6)	☔️ △40.4	☔️ △38.6
小売業		☀️ 20.2	☀️ 20.9	☀️ 21.4	☀️ 13.0	☁️ △19.0	☁️ (△19.0)	☔️ △45.8	☔️ △47.5
運輸業		☀️ 17.7	☀️ 35.4	☀️ 17.2	☀️ 24.2	☁️ △24.4	☁️ (△25.6)	☔️ △54.9	☔️ △53.9
情報通信業		☀️ 27.0	☀️ 16.7	☀️ 19.7	☁️ 1.5	☁️ △6.7	☁️ (△11.7)	☔️ △53.3	☔️ △48.3
サービス業		☀️ 16.7	☀️ 25.2	☁️ 9.6	☁️ 7.0	☁️ △20.2	☁️ (△24.8)	☔️ △47.5	☔️ △42.6
飲食店・宿泊業		☀️ 15.9	☀️ 21.2	☀️ 27.0	☁️ 1.5	☔️ △63.6	☔️ (△62.1)	☔️ △86.1	☔️ △79.2

☀️ 快晴 — 30以上~100以下 ☁️ 曇り — △30以上~△5未満 ☀️ 晴 — 10以上~30未満 ☁️ 薄曇り — △5以上~10未満
 ☔️ 雨 — △100以上~△30未満

図表2-2. 売上、採算水準、資金繰りD. I. 値の推移 (全産業)



3. 売上

— 当期は「減少」超幅が大幅に拡大（D.I. 値は調査開始以来最低）、
来期は「減少」超幅がやや縮小の見通し —

(1) [2020年4～6月期実績]

当期の売上D.I.は△64.9と、「減少」超幅が大幅に拡大した。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業、運輸業、情報通信業、サービス業で「減少」超幅が大幅に拡大し、建設業、飲食店・宿泊業で「減少」超幅が拡大となった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の売上D.I.は△62.5と、「減少」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業、飲食店・宿泊業で「減少」超幅が拡大となるものの、製造業、卸売業、サービス業で「減少」超幅が縮小、運輸業、情報通信業で「減少」超幅がやや縮小、小売業で「減少」超幅が横這いの見通しとなっている。

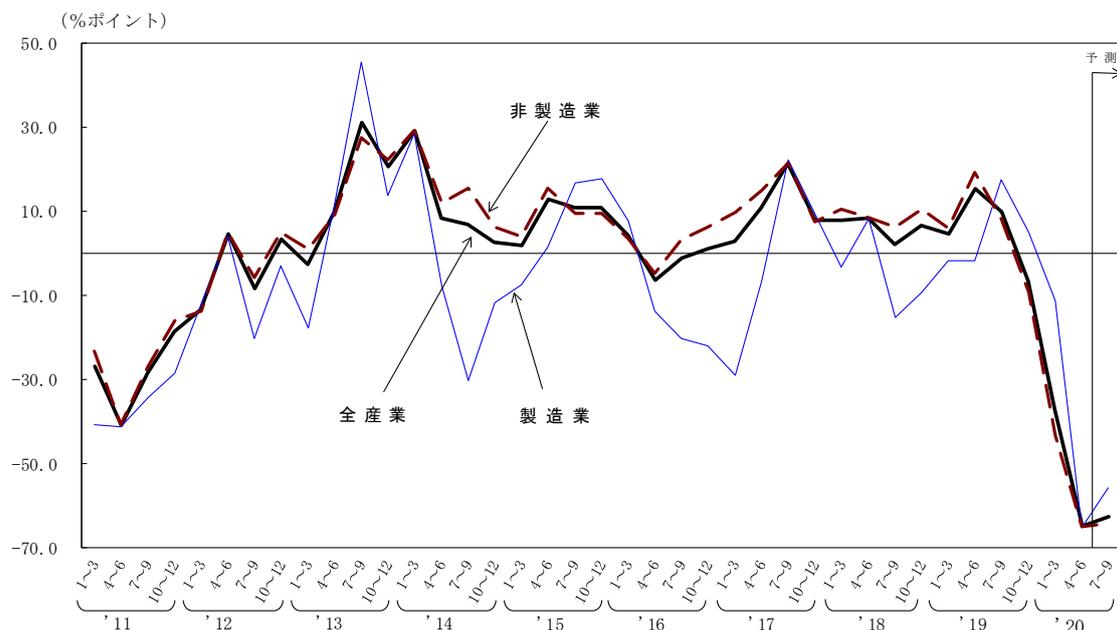
図表3-1. 売上D.I.

参考: 売上D.I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D.I. (①-②)	4.6	15.5	9.9	△ 6.5	△ 37.1	(△39.6)	△ 64.9	△ 62.5
	① 増加(%)	33.8	37.3	36.1	27.4	18.4	(11.8)	8.1	6.3
	不変(%)	36.9	40.9	37.7	38.8	26.2	(36.8)	18.9	24.9
	② 減少(%)	29.3	21.8	26.2	33.8	55.5	(51.4)	73.0	68.8
製造業		△ 1.6	△ 1.6	17.5	5.0	△ 11.3	(△27.4)	△ 65.1	△ 55.6
建設業		6.3	9.7	△ 11.1	△ 14.3	△ 19.7	(△18.0)	△ 25.0	△ 32.8
卸売業		0.0	23.1	30.8	△ 16.2	△ 34.2	(△50.0)	△ 76.3	△ 71.1
小売業		7.0	16.3	11.9	△ 4.9	△ 52.4	(△50.0)	△ 75.0	△ 75.0
運輸業		15.6	34.4	12.1	18.2	△ 66.7	(△56.7)	△ 79.4	△ 76.5
情報通信業		4.8	△ 4.5	9.1	△ 40.9	△ 60.0	(△40.0)	△ 90.0	△ 85.0
サービス業		9.1	33.3	2.2	0.0	△ 34.9	(△44.2)	△ 68.1	△ 59.6
飲食店・宿泊業		△ 4.8	22.7	23.8	△ 27.3	△ 81.8	(△72.7)	△ 91.7	△ 100.0

図表3-2. 売上D.I.の推移



4. 採算水準

— 当期は「黒字」超から「赤字」超へ転じる、来期は「赤字」超幅が縮小の見通し —

(1) [2020年4～6月期実績]

当期の採算水準D. I. は $\Delta 21.3$ と、「黒字」超から「赤字」超へ転じた。

業種別にみると、製造業、卸売業、小売業、運輸業、情報通信業で「黒字」超から「赤字」超へ転じ、サービス業、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が大幅に拡大、建設業で「黒字」超幅が大幅に縮小となった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の採算水準D. I. は $\Delta 15.3$ と、「赤字」超幅が縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、建設業で「黒字」超幅が縮小となるものの、製造業で「赤字」超から「黒字」超に転じ、卸売業、運輸業、情報通信業、飲食店・宿泊業で「赤字」超幅が大幅に縮小、サービス業で「赤字」超幅が縮小、小売業で「赤字」超幅が横這いの見通しとなっている。

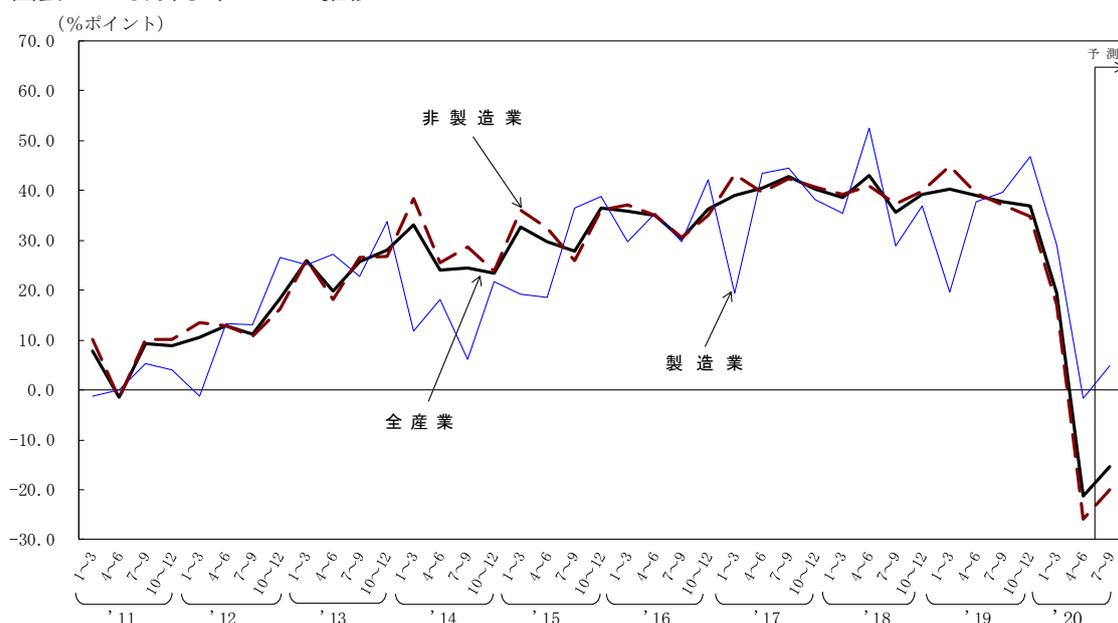
図表4-1. 採算水準D.I.

参考: 採算水準D. I. (当該期、「黒字」-「赤字」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①-②)	40.2	39.1	37.7	36.9	19.3	(11.5)	$\Delta 21.3$	$\Delta 15.3$
	① 黒字(%)	50.0	49.4	47.6	47.1	41.4	(33.3)	26.1	24.3
	トントン(%)	40.2	40.3	42.5	42.8	36.4	(44.9)	26.4	36.0
	② 赤字(%)	9.8	10.3	9.9	10.2	22.1	(21.8)	47.4	39.6
	製造業	19.7	37.7	39.7	46.7	29.0	(21.0)	$\Delta 1.6$	4.8
	建設業	42.2	33.9	27.0	25.4	37.7	(29.5)	18.8	12.5
	卸売業	61.5	51.3	59.0	45.9	50.0	(23.7)	$\Delta 21.1$	$\Delta 10.5$
	小売業	53.5	39.5	50.0	43.9	16.7	(9.5)	$\Delta 25.0$	$\Delta 25.0$
	運輸業	25.0	53.1	27.3	45.5	3.3	(10.0)	$\Delta 44.1$	$\Delta 32.4$
	情報通信業	66.7	36.4	31.8	27.3	40.0	(20.0)	$\Delta 35.0$	$\Delta 25.0$
	サービス業	40.9	31.1	22.2	30.2	$\Delta 2.3$	($\Delta 4.7$)	$\Delta 44.7$	$\Delta 38.3$
	飲食店・宿泊業	28.6	27.3	47.6	27.3	$\Delta 59.1$	($\Delta 59.1$)	$\Delta 91.7$	$\Delta 62.5$

図表4-2. 採算水準D. I. の推移



5-1. 資金繰り

— 当期は、「苦しい」超幅が大幅に拡大、来期は「苦しい」超幅がやや拡大の見通し —

(1) [2020年4～6月期実績]

当期の資金繰りD. I. は△27.3 と、「苦しい」超幅が大幅に拡大した。

業種別にみると、製造業、建設業、卸売業で「楽」超から「苦しい」超へ転じ、情報通信業で「保合い」から「苦しい」超となり、小売業、運輸業、飲食店・宿泊業で「苦しい」超幅が大幅に拡大、サービス業で「苦しい」超幅が拡大となった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の資金繰りD. I. は△31.8 と、「苦しい」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業、運輸業で「苦しい」超幅が大幅に拡大、製造業、建設業、小売業で「苦しい」超幅がやや拡大、情報通信業、サービス業、飲食店・宿泊業で「苦しい」超幅が横這いの見通しとなっている。

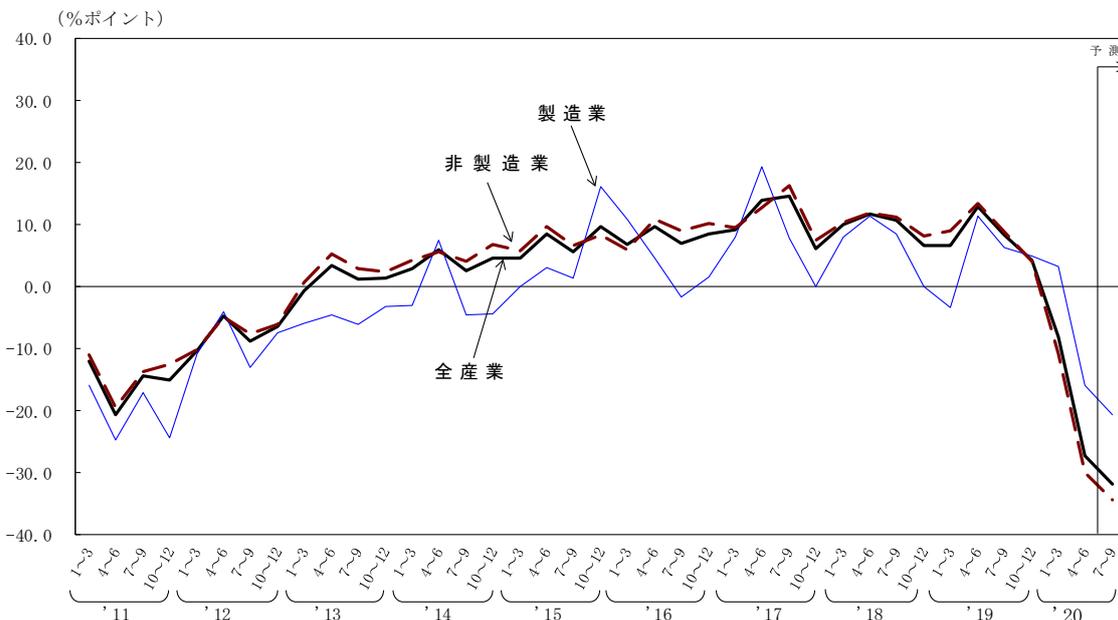
図表5-1-1. 資金繰りD.I.

参考: 資金繰りD. I. (前年同期比、「楽」-「苦しい」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期	7～9月期	
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I. (①-②)	6.7	13.0	8.4	4.3	△ 8.1	(△15.3)	△ 27.3	△ 31.8
	① 楽 (%)	14.6	18.2	14.8	12.0	9.0	(5.9)	5.7	3.3
	不変 (%)	77.4	76.7	78.9	80.3	73.8	(72.9)	61.3	61.6
	② 苦しい (%)	7.9	5.2	6.3	7.7	17.1	(21.2)	33.0	35.1
	製造業	△ 3.3	11.5	6.3	5.0	3.2	(△8.1)	△ 15.9	△ 20.6
	建設業	10.9	12.9	6.3	4.8	4.9	(△1.6)	△ 4.7	△ 9.4
	卸売業	15.4	17.9	17.9	10.8	5.3	(△2.6)	△ 23.7	△ 34.2
	小売業	0.0	7.0	2.4	0.0	△ 21.4	(△16.7)	△ 37.5	△ 42.5
	運輸業	12.5	18.8	12.1	9.1	△ 10.0	(△30.0)	△ 41.2	△ 52.9
	情報通信業	9.5	18.2	18.2	18.2	0.0	(△15.0)	△ 35.0	△ 35.0
	サービス業	0.0	11.1	4.4	△ 9.3	△ 23.3	(△25.6)	△ 29.8	△ 29.8
	飲食店・宿泊業	23.8	13.6	9.5	4.5	△ 50.0	(△54.5)	△ 75.0	△ 75.0

図表5-1-2. 資金繰りD. I. の推移



5-2. 借入難易

— 当期は「容易」超幅が拡大、来期は「容易」超幅が縮小の見通し —

(1) [2020年4～6月期実績]

当期の民間金融機関からの借入難易D. I. は9.3と、「容易」超幅が拡大となった。

業種別にみると、飲食店・宿泊業で「保合い」から「困難」超となり、運輸業で「容易」超から「保合い」となったものの、小売業、サービス業で「困難」超から「容易」超へ転じ、製造業、卸売業で「容易」超幅が拡大、建設業で「容易」超幅がほぼ横這い、情報通信業で「容易」超幅が横這いとなった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の借入難易D. I. は1.5と、「容易」超幅が縮小の見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「容易」超幅がやや拡大となるものの、建設業、情報通信業で「容易」超から「困難」超へ転じ、運輸業で「保合い」から「困難」超となり、飲食店・宿泊業で「困難」超幅がやや拡大、小売業、サービス業で「容易」超幅が大幅に縮小、製造業で「容易」超幅が縮小の見通しとなっている。

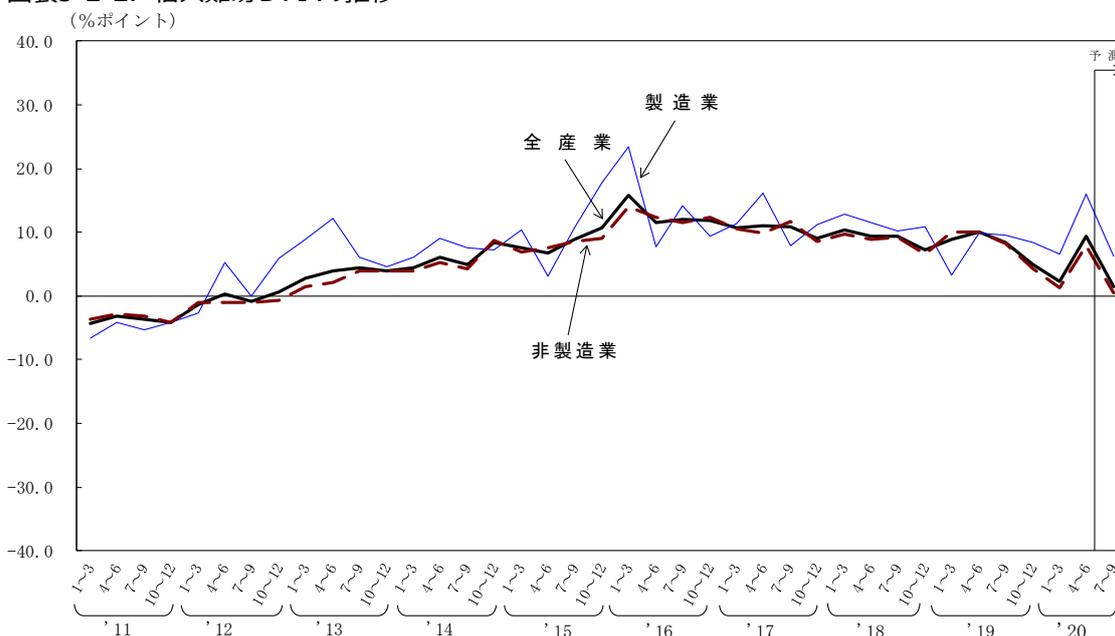
図表5-2-1. 借入難易D.I.

参考:借入難易D. I. (前年同期比、「容易」-「困難」企業割合)

(単位: %ポイント)

区分 業種	2019年				2020年			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①—②)	8.8	10.0	8.4	4.9	2.2	(△0.9)	9.3	1.5
① 容易(%)	10.4	11.8	11.4	8.3	7.2	(5.9)	15.9	10.8
不変(%)	88.1	86.4	85.5	88.3	87.9	(87.2)	77.5	79.9
② 困難(%)	1.5	1.8	3.0	3.4	5.0	(6.9)	6.6	9.3
製造業	3.3	9.8	9.5	8.3	6.5	(0.0)	15.9	6.3
建設業	9.4	11.3	11.1	7.9	4.9	(3.3)	4.7	△ 3.1
卸売業	12.8	15.4	5.1	5.4	5.3	(13.2)	10.5	13.2
小売業	7.0	2.3	2.4	2.4	△ 4.8	(△2.4)	17.5	5.0
運輸業	9.4	6.3	9.1	0.0	3.3	(△3.3)	0.0	△ 5.9
情報通信業	14.3	9.1	13.6	0.0	10.0	(10.0)	10.0	△ 5.0
サービス業	6.8	11.1	6.7	2.3	△ 7.0	(△18.6)	17.0	6.4
飲食店・宿泊業	19.0	18.2	14.3	9.1	0.0	(△9.1)	△ 12.5	△ 16.7

図表5-2-2. 借入難易D. I. の推移



Ⅲ. 参考

参考 1. 販売数量（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「減少」超幅が大幅に拡大、来期は「減少」超幅がやや縮小の見通し —

(1)〔2020年4～6月期実績〕

当期の販売数量D. I. は△57.4 と「減少」超幅が大幅に拡大となった。
業種別にみると、製造業、卸売業、小売業で「減少」超幅が大幅に拡大となった。

(2)〔2020年7～9月期見通し〕

来期の販売数量D. I. は△52.5 と、「減少」超幅がやや縮小の見通しとなっている。
業種別にみると、製造業で「減少」超幅が縮小、卸売業、小売業で「減少」超幅がやや縮小の見通しとなっている。

表1. 販売数量D.I.

参考:販売数量D. I. (前年同期比、「増加」-「減少」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I (①—②)	1.4	7.0	16.7	△ 7.2	△ 26.8	(△39.4)	△ 57.4	△ 52.5
	① 増加(%)	29.4	31.5	40.3	27.5	21.8	(11.3)	12.8	10.6
	不変(%)	42.7	44.1	36.1	37.7	29.6	(38.0)	17.0	26.2
	② 減少(%)	28.0	24.5	23.6	34.8	48.6	(50.7)	70.2	63.1
	製造業	0.0	△ 3.3	20.6	△ 3.3	△ 9.7	(△25.8)	△ 46.0	△ 39.7
	卸売業	2.6	12.8	25.6	△ 10.8	△ 36.8	(△50.0)	△ 57.9	△ 55.3
	小売業	2.3	16.3	2.4	△ 9.8	△ 42.9	(△50.0)	△ 75.0	△ 70.0

参考 2. 販売価格（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 当期は「上昇」超から「下降」超へ転じる、来期は「下降」超幅が横這いの見通し —

(1)〔2020年4～6月期実績〕

当期の販売価格D. I. は△7.1 と、「上昇」超から「下降」超へ転じた。
業種別にみると、製造業で「上昇」超から「下降」超へ転じ、小売業で「下降」超幅が大幅に拡大、卸売業で「上昇」超幅がやや縮小となった。

(2)〔2020年7～9月期見通し〕

来期の販売価格D. I. は△7.1 と、「下降」超幅が横這いの見通しとなっている。
業種別にみると、製造業で「下降」超から「上昇」超に転じるものの、卸売業で「上昇」超から「下降」超へ転じ、小売業で「下降」超幅がやや拡大の見通しとなっている。

表2. 販売価格D.I.

参考:販売価格D. I. (前年同期比、「上昇」-「下降」企業割合)

(単位: %ポイント)

業種	区分	2019年				2020年			
		1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
		実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業	D. I (①—②)	19.6	23.1	13.2	13.0	3.5	(△6.3)	△ 7.1	△ 7.1
	① 上昇(%)	25.9	30.1	21.5	21.7	19.0	(12.7)	14.9	14.9
	不変(%)	67.8	62.9	70.1	69.6	65.5	(68.3)	63.1	63.1
	② 下降(%)	6.3	7.0	8.3	8.7	15.5	(19.0)	22.0	22.0
	製造業	16.4	21.3	14.3	15.0	11.3	(△1.6)	△ 1.6	3.2
	卸売業	23.1	30.8	23.1	8.1	5.3	(△7.9)	2.6	△ 2.6
	小売業	20.9	18.6	2.4	14.6	△ 9.5	(△11.9)	△ 25.0	△ 27.5

参考3. 在庫水準（製造業・卸売業・小売業のみ）

— 「過剰」超幅が大幅に拡大 —

〔2020年6月期末〕

在庫水準D. I. は△22.7と、前期末と比べて「過剰」超幅が大幅に拡大となった。
業種別にみると、製造業、卸売業、小売業で「過剰」超幅が大幅に拡大となった。

表3. 在庫水準D.I.

参考：在庫水準D. I.（当該期末の水準、「不足」-「過剰」企業割合）

（単位：%ポイント）

業種	区分	2019年				2020年	
		3月期末	6月期末	9月期末	12月期末	3月期末	6月期末
全産業	D. I. (①—②)	△ 0.7	△ 9.1	△ 2.8	△ 5.8	△ 6.3	△ 22.7
	① 不足 (%)	4.9	2.8	3.5	2.2	3.5	5.7
	適正 (%)	89.5	85.3	90.3	89.9	86.6	66.0
	② 過剰 (%)	5.6	11.9	6.3	8.0	9.9	28.4
	製造業	4.9	△ 13.1	△ 1.6	△ 5.0	△ 1.6	△ 17.5
	卸売業	2.6	△ 10.3	△ 2.6	△ 2.7	△ 7.9	△ 21.1
	小売業	△ 11.6	△ 2.3	△ 4.8	△ 9.8	△ 11.9	△ 32.5

参考4. 雇用判断

－ 当期は「不足」超幅が大幅に縮小、来期は「不足」超幅がほぼ横這いの見通し －

(1) [2020年4～6月期実績]

当期の雇用判断D. I. は9.9と、「不足」超幅が大幅に縮小となった。

業種別にみると、卸売業、運輸業、飲食店・宿泊業で「不足」超から「過剰」超へ転じ、情報通信業で「不足」超から「保合い」となり、製造業、建設業、小売業、サービス業で「不足」超幅が大幅に縮小となった。

(2) [2020年7～9月期見通し]

来期の雇用判断D. I. は10.5と、「不足」超幅がほぼ横這いの見通しとなっている。

業種別にみると、卸売業で「過剰」超幅がやや拡大、製造業で「不足」超幅が縮小、建設業で「不足」超幅がほぼ横這いとなるものの、運輸業で「過剰」超から「不足」超へ転じ、サービス業で「不足」超幅がやや拡大、飲食店・宿泊業で「過剰」超幅が大幅に縮小、小売業で「不足」超幅が横這い、情報通信業で「保合い」の見通しとなっている。

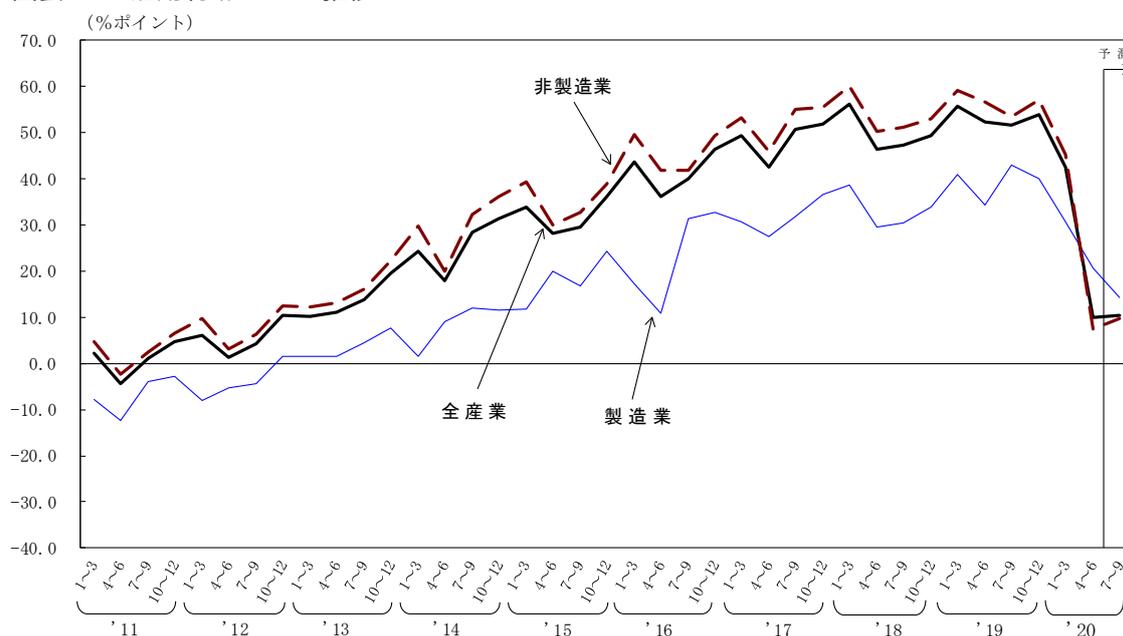
図表4-1. 雇用判断D.I.

参考：雇用判断D. I. (当該期、「不足」-「過剰」企業割合)

(単位：%ポイント)

区分 業種	2019年				2020年			
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期		7～9月期
	実績	実績	実績	実績	前回実績	前回見通し	今回実績	今回見通し
全産業 D. I. (①—②)	55.8	52.4	51.5	53.8	42.4	(36.4)	9.9	10.5
① 不足(%)	57.0	54.5	53.6	54.8	46.1	(43.3)	27.0	26.4
適正(%)	41.8	43.3	44.3	44.3	50.2	(49.8)	55.9	57.7
② 過剰(%)	1.2	2.1	2.1	0.9	3.7	(6.9)	17.1	15.9
製造業	41.0	34.4	42.9	40.0	30.6	(27.4)	20.6	14.3
建設業	65.6	59.7	49.2	57.1	52.5	(42.6)	37.5	35.9
卸売業	41.0	35.9	30.8	40.5	42.1	(23.7)	△ 5.3	△ 7.9
小売業	58.1	69.8	52.4	58.5	50.0	(50.0)	10.0	10.0
運輸業	59.4	62.5	54.5	60.6	40.0	(40.0)	△ 2.9	2.9
情報通信業	38.1	36.4	50.0	45.5	40.0	(30.0)	0.0	0.0
サービス業	70.5	64.4	71.1	72.1	58.1	(60.5)	10.6	12.8
飲食店・宿泊業	76.2	59.1	76.2	63.6	9.1	(0.0)	△ 45.8	△ 20.8

図表4-2. 雇用判断D. I. の推移



参考 5. 経営上の問題点

— 2期連続で「売上の不振」が最多となる —

[2020年4～6月期実績]

当面の経営上の問題点としては、2期連続で「売上の不振」(図表5-1の表頭①26.3%)の割合が最も高く、続いて「利益の減少」(同③21.2%)、「人件費の増加」(同⑤10.8%)の順となった。

業種別にみると、建設業を除くすべての業種で「売上の不振」の割合が最も高くなった。

図表5-1.経営上の問題点(複数回答)

(単位：%)

区分 業種	① 売上の不振	② 製品安等	③ 利益の減少	④ 原材料高	⑤ 人件費の増加	⑥ 人件費以外 経費の増加	⑦ 代金 回収難	⑧ 借入難	⑨ 余剰人員	⑩ 求人難	⑪ 設備・店舗 の狭小等	⑫ 事業承継	⑬ その他
全産業	26.3	2.1	21.2	5.5	10.8	4.8	1.7	0.6	2.4	10.5	9.7	1.5	3.0
製造業	19.9	1.2	18.1	11.4	10.8	6.6	1.8	0.6	1.8	7.8	17.5	1.8	0.6
建設業	18.2	0.6	20.1	11.3	13.2	8.2	0.6	1.9	0.0	17.0	4.4	0.6	3.8
卸売業	29.8	4.8	20.2	2.4	9.5	3.6	4.8	1.2	3.6	4.8	9.5	2.4	3.6
小売業	32.6	1.1	22.1	1.1	12.6	2.1	2.1	0.0	3.2	12.6	8.4	1.1	1.1
運輸業	35.1	0.0	27.3	1.3	10.4	2.6	0.0	0.0	2.6	7.8	10.4	1.3	1.3
情報通信業	36.6	2.4	17.1	2.4	4.9	0.0	7.3	0.0	0.0	12.2	7.3	2.4	7.3
サービス業	27.1	5.1	21.2	0.8	9.3	5.9	0.8	0.0	3.4	13.6	7.6	1.7	3.4
飲食店・宿泊業	32.3	3.2	27.4	1.6	9.7	0.0	0.0	0.0	6.5	1.6	9.7	1.6	6.5

図表5-2. 経営上の問題点 (複数回答)

